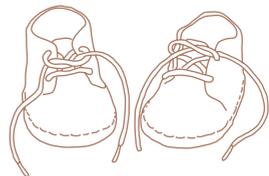


写真で見つける 光のアート

街歩きを10倍楽しくするために

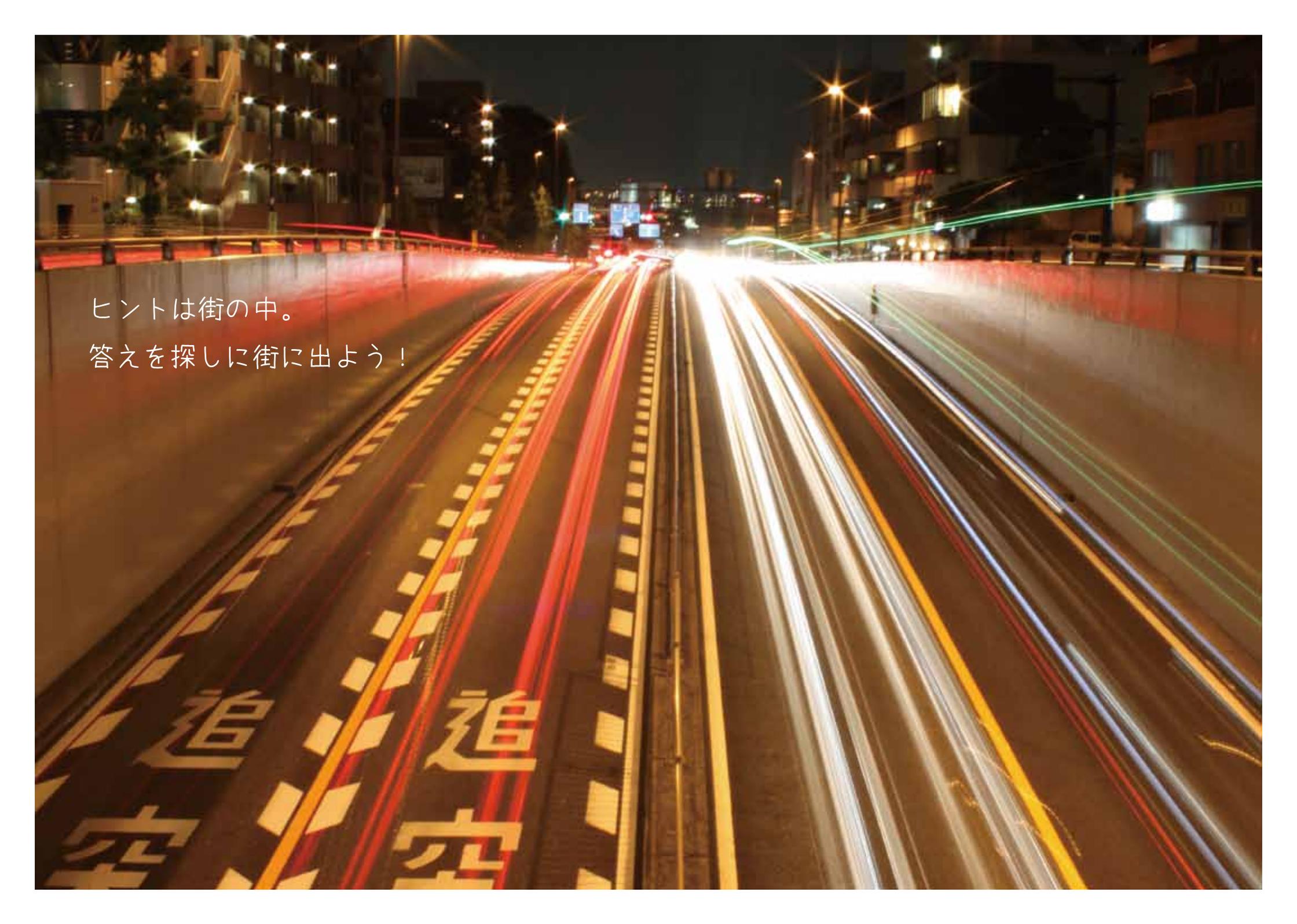


小林茂雄+東京都市大学小林研究室

雷鳥社

光のおもしろさって何だろう？





ヒントは街の中。
答えを探しに街に出よう！



はじめに

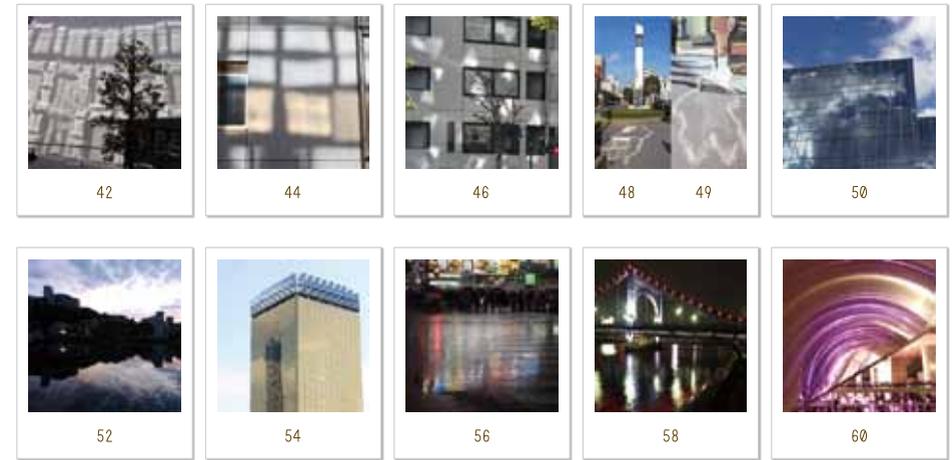
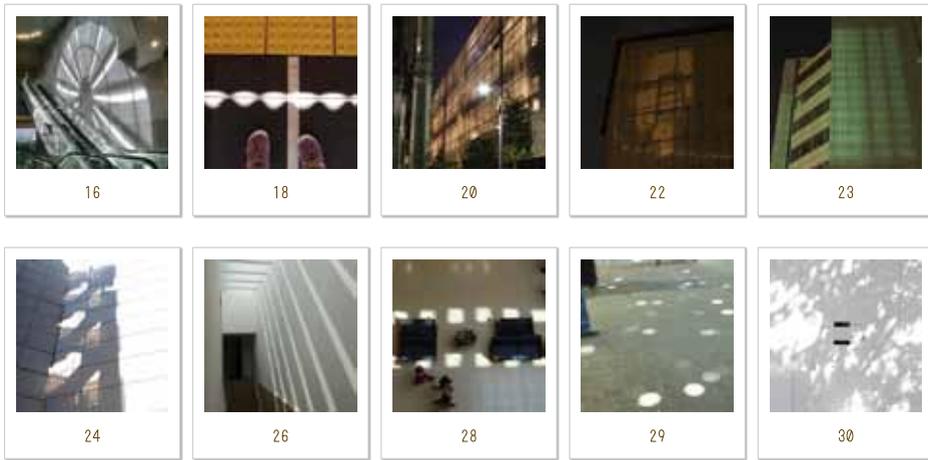
街を歩きながら、『光のアート』を探そう。

街には意図的にデザイン、計画された光だけではなく、ふとした瞬間に現れる光や偶然できたような光のパターンが存在している。それらは、街をただぼんやりと歩いていただけではなかなか気づかないものだ。なぜなら、風景とはこうあるべきだと、無意識のうちに思い込んでいるからだ。また、光の風景は時間によって移り変わるもので、いつでもそこに現れるというものではないからである。

そこで、風景を慎重に観察してみたり、視点を変えたりしてみよう。建物の透過する光、ガラスで反射する光、水面の光、自動車などの発光体などをじっくり見てみよう。面白いと感じられる現象や、ストーリーが感じられる光が意外とあることがわかる。本書では、ふだん見落とされてしまいがちな光によってつくられるアートの事例を収集している。その中にははじめて目にするものもあれば、よく知っているのに気づかなかった現象もあるだろう。そのような光の面白さを存分に楽しんでもらいたい。

主な事例については、風景の見つけ方を伝授している。そして、光の現象を分析し、アートが起こる理由を説明し、新しい解釈を与えている。光のカラクリを知ると、風景を見る目も一層養われることになるだろう。

本書を読み進めていくにしたがって、あなたの街にある光を探し出さなければ幸いだ。そうしたらカメラを持って出かけよう。自分で発見した光は、風景に彩りを与えてくれる。撮影した写真は自分だけのアートになる。光をつくったのはあなたではないけれど、発見し、切り取ったのはあなただからだ。そしてみんなで、街の光マスターになろう！



07 はじめに

12 撮影グッズ

— 透過 —

- MAP 14 光の-artの-見つけ方 『透過』
- 事例 16 タイムリミット遊園地
- 18 駅のホームにゆらめく光の線
～内側までお下がりにください～
- 20 スケルトン建築
- 22 官能的なトタン板
- 23 セレブのおすそ分け
- 24 遊び心いっぱいの階段壁画
- 26 スキマを狙う光の矢

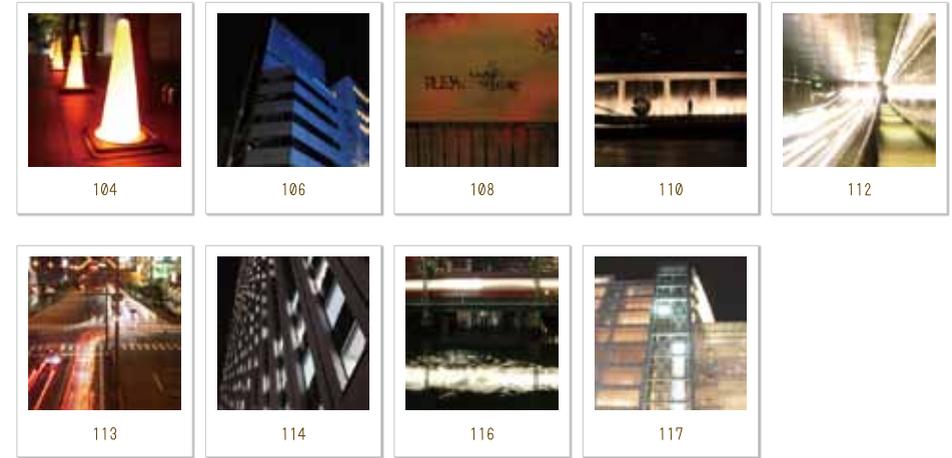
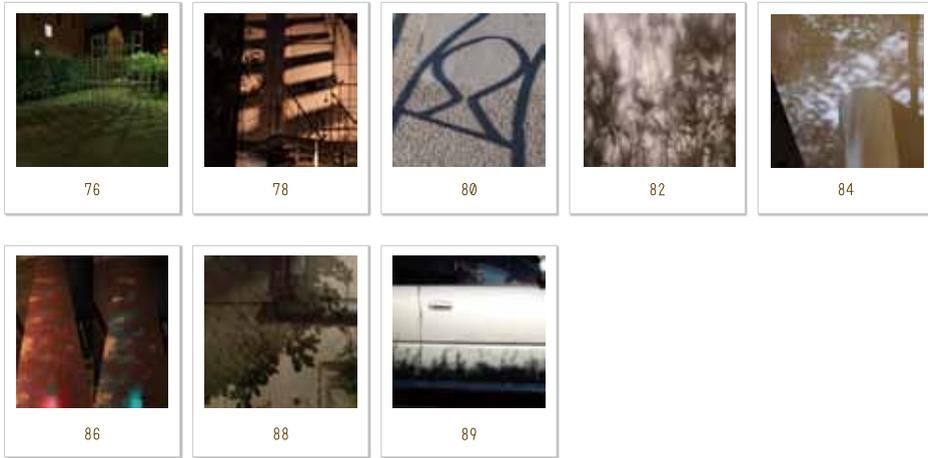
- 28 映画フィルム
- 29 天然スポットライト
- 30 白い鉄板に映る木漏れ日
- 32 透過詰め合わせ
 - ・物体を透過する光
 - ・隙間から漏れる光
- 解説 36 カラーフィルター
- 37 木漏れ日の科学
- 38 光の-artの-探し方

— 反射 —

- MAP 40 光の-artの-見つけ方 『反射』
- 事例 42 きらきらカーテン
- 44 大きなポストイット
- 46 流れ弾にご用心!
- 48 ねじれた光
- 49 事件現場
- 50 着せ替えビル
- 52 空に浮かぶ島
- 54 箱詰めされたスカイツリー

- 56 ぼやけた風景
- 58 光のテリトリー
- 60 星を飲んだ金属板
- 62 反射詰め合わせ
 - ・壁面への反射
 - ・ねじれた光
 - ・映り込み
 - ・水平反転
- 解説 66 都市の中で映り込みが増殖した理由は?
- 68 水面に光の帯ができるわけ
- 70 空間はどこまで続くのか?
- 72 光の-artの-切り取り方





— 影 —

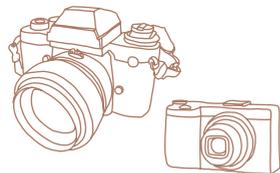
- MAP 74 光の-artの-見つけ方 『影』
- 事例 76 ゆがむジャングルジム
- 78 フィッシュボーン
～巨大な魚がビルに！～
- 80 ガードレール・アイコン
- 82 光の水墨画
- 84 建物にまわりつく樹木
- 86 秒単位で変わる季節 紅葉/若葉
- 88 影を育てる影
- 89 カー・ペインティング
- 90 影詰め合わせ
・植物の影 ・構造物の影
・オブジェとなる影
- 解説 94 影の伸縮
- 96 影は黒い？
- 97 カラーシャドウ
- 98 影は省略の芸術
- 99 季節や時間によって姿を変えるアート
- 100 ストーリーを見つけることは
脳を活性化させる

— 発光 —

- MAP 102 光の-artの-見つけ方 『発光』
- 事例 104 確信的？革新的オブジェ
- 106 ムリヤリ化粧させられるビル
- 108 赤いぶちのお化け
- 110 燃え広がる光
- 112 光のクラッカー
- 113 - 1/x のグラフ
- 114 隠れイケメン☆
- 116 帰宅ラッシュがつくる光線
- 117 光のタワー
- 118 発光詰め合わせ
・光の軌跡 ・光のアイコン
・発光体による色化粧
- 解説 122 動く光の捉え方
- 123 視覚化される気流
- 124 おわりに
- 126 著者紹介



撮影グッズ



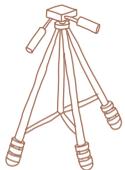
カメラ

光を思い通りに撮影するには、絞りやシャッタースピード、ピントを調節したり、レンズを交換できたりする一眼レフカメラを持っておきたい。ただし日常生活の中では、一瞬で消えてしまう光など、瞬発力を求められる場面に突然遭遇することもある。そんなときいつでも対応できるように、コンパクトカメラは常に持ち歩きたい。



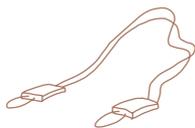
三脚

夜間の撮影では三脚は必須。多少重くても安定感のあるものを選ぼう。軽い三脚は意外とブレやすく、設置する場所が平面でなければ倒れやすい。また暗い場所では水平を掴みづらいため、水準器つきのものがよい。



ストラップ

撮影の前にはまずカメラを首に掛けておきたい。バッグから出しておかなくてはシャッターチャンスを逃してしまう。首からかけておくことで、「光を探そう」「良い写真を撮ろう」という意識も自然と高まってくる。



雨具

天気の良い晴れた日だけでなく、雨の日にも街には素敵な光のアートが現れる。光がガラスの水滴や濡れたアスファルトに反射する。雨の日こそ、街へと撮影に出かけよう。それでもカメラだけは濡らさないように、雨具をバッグに忍ばせておこう。折り畳み傘は直射日光を遮るフードにも活用できる。



小奇麗な服装・歩きやすい靴

路上で光を撮影していると、特に夜間の撮影時には、不審がられてしまうことがある。小奇麗な服装で、健全な撮影であることをアピールしよう。また、塀や電柱、ガードレールなどに身体を預けたり、地面に寝転んだりしての撮影もあるだろう。そんなときにも汚れても平気な服装を選びたい。さらに、撮影時は長時間歩くため、靴のチョイスにも気をつけよう。



レンズ

レンズを一本だけ持ち歩くならズームレンズが便利。光の現象をアップで切り取りたいときは望遠レンズ。街を広く撮ったり、室内を撮ったり、光の行き交い方を追ったりしたい場合は広角レンズを用意する。



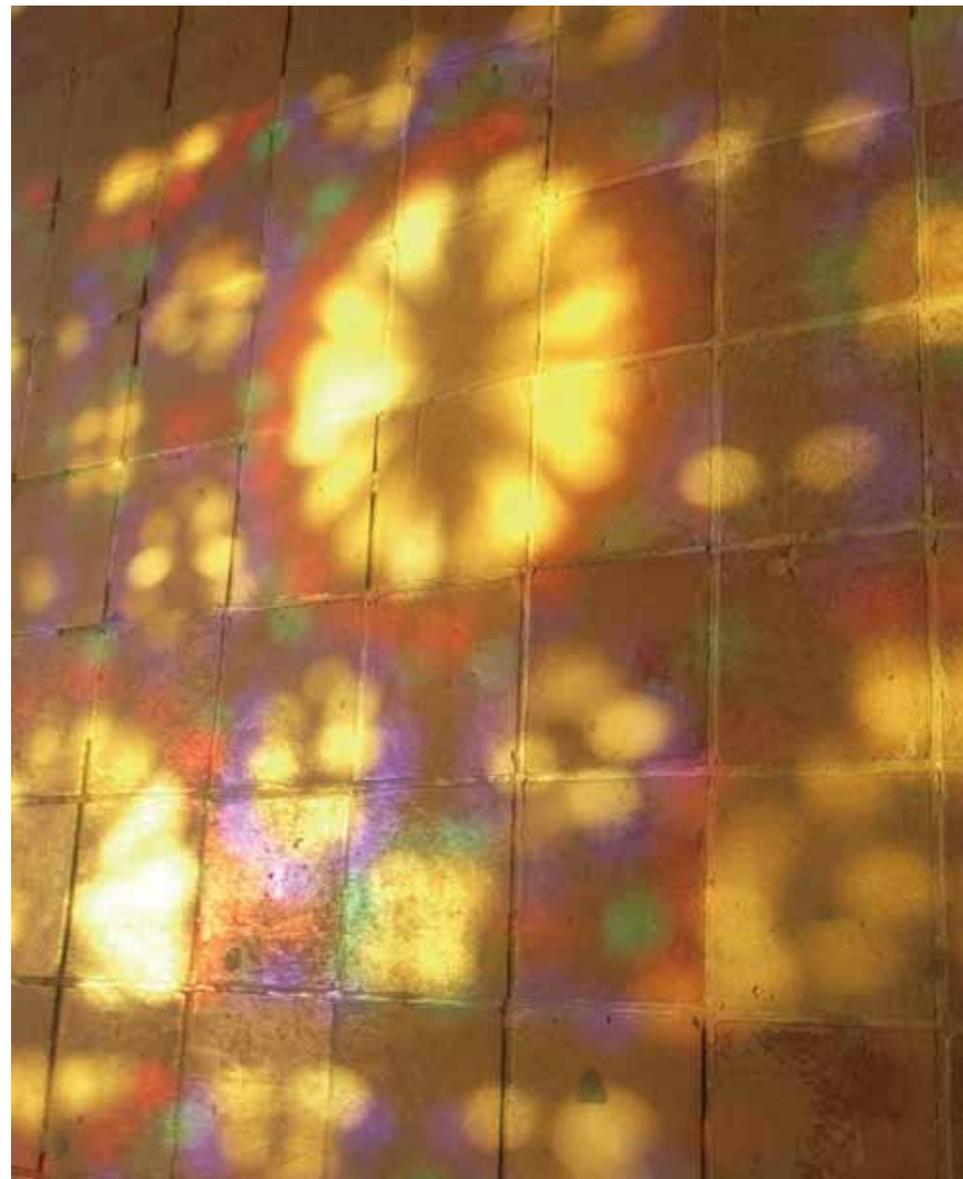
予備バッテリー メディア

長時間露出の撮影では、バッテリーが消耗しやすい。また光を撮影するときには、露出を数段階にずらして撮影したり、ホワイトバランスやアングルを変えたりするので、撮影枚数が増えやすい。バッテリーと記録メディアは予備のものを用意しておきたい。



音楽プレイヤー

長時間の街歩きは退屈してしまいやすい。また、お気に入りの太陽高度になるまで、長時間の「ひかり待ち」をすることも。そんなときには音楽を聴いて、気分を盛り上げよう。リズムにのっていたら、意外にいいものが見つかることも。



透過

物質を透過することによって変容する光



昼の木漏れ日

街路樹の木漏れ日は路上に現れるだけではない。木陰を見つけたら周りのオブジェを見渡してみよう！



夜の木漏れ日

夜間は看板の光や信号機、街路灯によって様々な色の木漏れ日が現れることも見逃さない。

- ☆発見スポット
- ・街路 ・公園 ・花壇
 - ・道端の草花

- ☆投影される対象物
- ・路面や壁面 ・ガードレール
 - ・ベンチやテーブル
 - ・工事現場の仮囲い
 - ・路上の人々 (特に明るい服を着た)



構造物の隙間を通る光

コンクリートや鉄骨の構造物を通して光はダイナミックに街へと映る。特に日が高く昇っている時間帯がオススメ!!

- ☆発見スポット
- ・高速道路 ・モノレール ・橋 ・工場 ・鉄塔
 - ・ペDESTリアンデッキ ・タワー ・クレーン



階段

屋外の階段は、三次元的に変化する造形であるため、独特な像を街につくる。手すりの間から漏れる光は、格子状の街路に斜めのラインを与えるだろう。

- ☆発見スポット
- ・非常階段 ・歩道橋
 - ・らせん階段 ・はしご車



カラーフィルター

光がひざしを透過することで、シャッターや路上が色づく。商店街のアーケードや店先で見つけやすい。朝の9時前や定休日などシャッターが閉まっている時間帯を狙おう。

- ☆発見スポット
- ・朝方の商店街 ・住宅街の駐車場
 - ・ステンドグラス ・工事現場のブルーシート



マンションの窓明り

マンションには様々な住人が住んでいて、カーテンの趣味も住人ごとで違う。カーテンを透過してくる光は住人の個性が表れている。

- ☆発見スポット
- ・夜9時以降の高層マンション
 - ・若い世帯の住むマンション (都心よりやや郊外の方が特徴あり)



天窗

大きな天窗を持つ建物では、空間の中央に鮮やかな光のパターンが現れる。室内ではまず見上げて、そして見下ろしてみよう。

- ☆発見スポット
- ・ショッピングモール ・駅のコンコース
 - ・オフィスビルのエントランス
 - ・美術館のホール



夜の看板

昼間では目立たないものも、夜になり内部の光が透過することで、宣伝力のある看板になることもある。

- ☆発見スポット
- ・商店街 ・非常口 ・居酒屋 ・レストラン
 - ・カフェ ・ゲームセンター



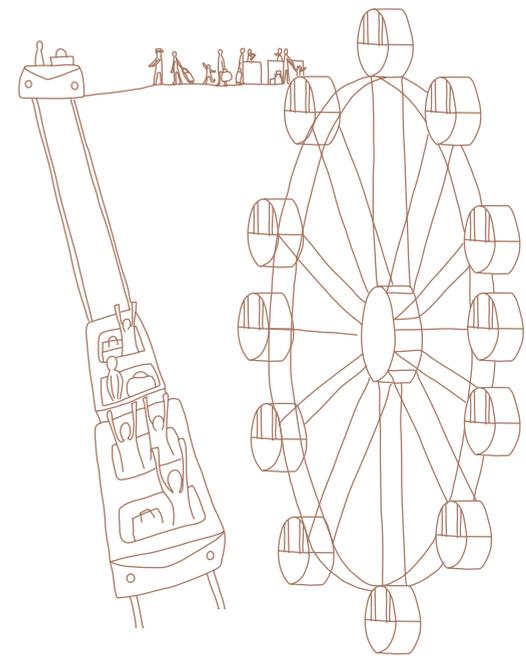


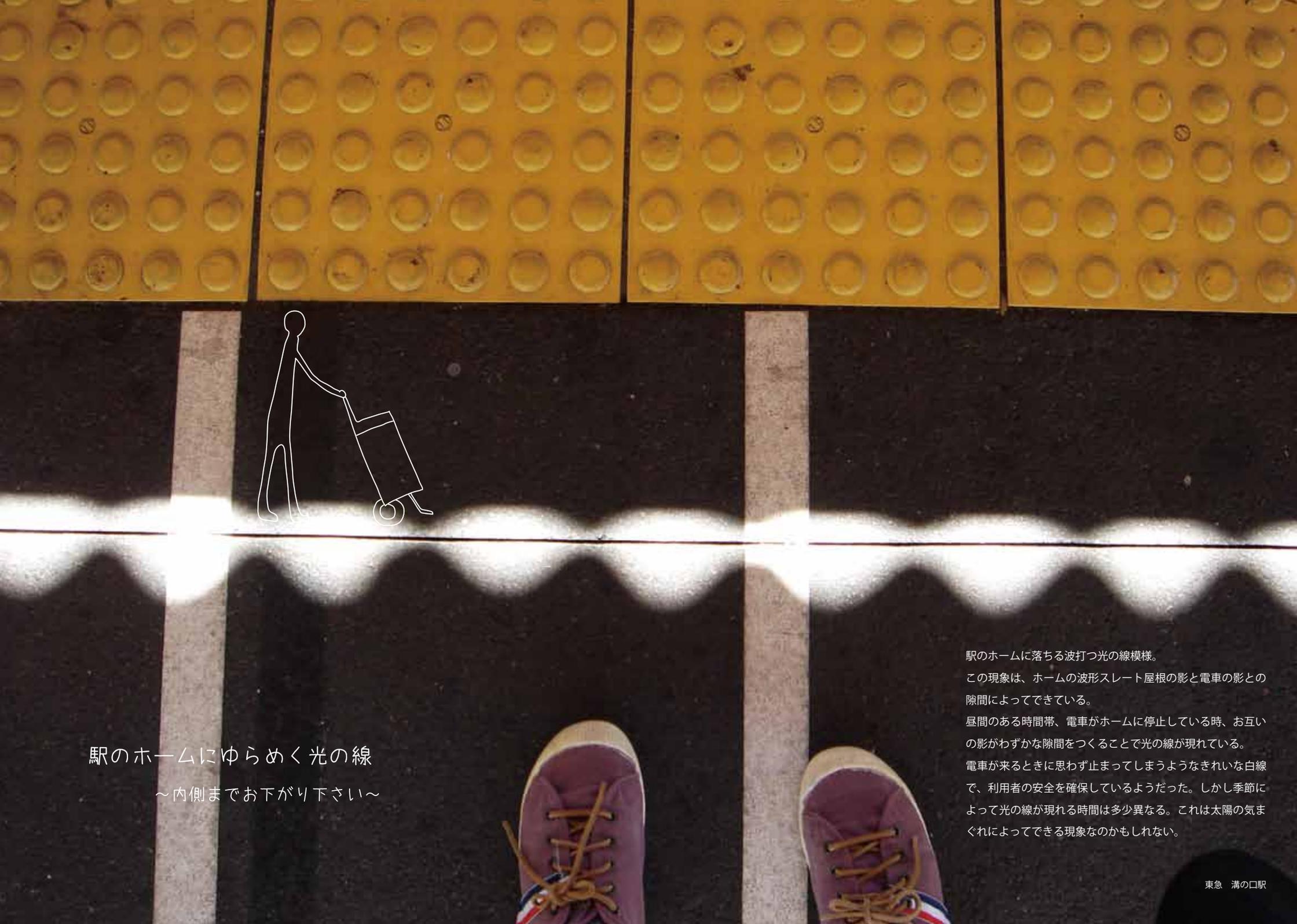
成田空港4階北ウイング第1ターミナル



タイムリミット遊園地

空港のターミナルの天窗から光が差し込む。窓に張られた布を透過した光と建造物の影が合わさり、観覧車の模様が壁面へと映している。放射状に広がる大円が観覧車、エスカレーターがジェットコースターのようなイメージが湧く。空港という人が忙しく行きかう中で、短時間でも気持ちに余裕ができる。気分を盛り上げて旅立てるように、光がつくってくれたテーマパーク。





駅のホームにゆらめく光の線

～内側までお下がり下さい～

駅のホームに落ちる波打つ光の線模様。

この現象は、ホームの波形スレート屋根の影と電車の影との隙間によってできている。

昼間のある時間帯、電車がホームに停止している時、お互いの影がわずかな隙間をつくることで光の線が現れている。

電車が来るときに思わず止まってしまうようなきれいな白線で、利用者の安全を確保しているようだった。しかし季節によって光の線が現れる時間は多少異なる。これは太陽の気まぐれによってできる現象なのかもしれない。

おわりに

「街の光の魅力を伝えたい」

その思いがこの本を制作するきっかけだった。

街には様々な光のアートが潜んでいる。けれど、その存在をほとんどの人は知らない。こんなに魅力が詰まったものがあるのに、それを知らないでいるのはもったいない。より多くの人にその奥深さを知ってもらいたいという思いで制作をスタートした。

とはいえ、はじめからそこまで対象を理解していたわけではない。街歩きを始めたころは、「光のアート」とはいったい何かということは私たちもよく分かっていなかった。どこを歩いたら出会えるのか、どのように撮ればその面白さが伝わるのかわからず、思うように進まなかった時期が続いた。

しかしそんな時にも、とにかく街を歩き回って撮影を繰り返した。撮った写真をみんなで見て、そのどこにおもしろさがあるのかを何度も話し合った。そうすることで次第に、引き付けられる現象には、何かしらの要素が隠れていると気づくようになった。また、光の特性を考えながら街を歩くことで、ふと現れる光の現象に小さな喜びを見つけられるようになっていった。

この本は

「光の風景を深く感じたい」、「街歩きをしながら写真を撮りたい」

そんな方々に手にとってもらいたい。

光を求めて街を歩いていると、見慣れた場所でも違う風景が見えてくる。光の強さや方向が時刻や季節によって変わっていくからだ。それを写真で残すことに楽しさを感じるだろう。

街に潜む光のアートを通して、光の美しさや、街の魅力を発見するドキドキ感と、写真撮影時の気分の高揚を味わってもらいたい。光の見方さえわからなかった私たちも、今ではもう、いたるところの光の風景が気になって仕方なくなった。同じ風景を見ていたのに、いつの間にかゆっくりと歩くことさえできないような状態だ。そんな、疲れるくらいに街歩きを多くの人たちと共有したい。

本書を制作するにあたり、「NIGHT Windows～東京の夜景」様、里実里美様、小林永峰様、佐藤健児（雷鳥社）様のお力添えをいただきました。また、『光のタワー／東京乱反射スケープ』（川畑博哉／デザインオフィススケイ）からは、都市の光を探索する先人として大きな刺激を受けました。改めて謝意を表します。

MEMBERS



小林茂雄 Kobayashi Shigeo

1968年生まれ。東京工業大学卒業。東京都市大学准教授。
2010年日本建築学会賞（論文）受賞。

お気に入りの一枚『天然スポットライト』。意図せずに生じる木漏れ日は素晴らしいと思う。トタン屋根はそういうことを可能にしてくれる。



山上史泰 Yamagami Fumihito

1985年生まれ。武蔵工業大学大学院修了。2009年リーダー。

お気に入りの一枚『光のポストイット』。擁壁の汚れ具合と光の対比がいかにもストリートらしくてカッコイイ。



坪山 励 Tsuboyama Rei

1986年生まれ。東京都市大学大学院在学中。2010年リーダー。

お気に入りの一枚『スケルトン建築』。「アートは美術館に行ってみるものじゃなく、日常の中にこそ潜んでいる」それを一番実感させてくれました。



生駒 あゆみ Ikoma Ayumi

1987年生まれ。武蔵工業大学卒業。マスコット担当。

お気に入りの一枚『きらきらカーテン』。一つ一つの反射光が違っていたり、濃淡があったりと模様が立体的に見えるところ。かわいいです。



大前 規子 Ohmae Noriko

1987年生まれ。武蔵工業大学卒業。デキ女担当。

お気に入りの一枚『光のクラッカー』。撮影時は見えないけど、撮ったときの驚きと楽しみがある。何度も繰り返してやっと撮れた時は嬉しかった！



岡島 静香 Okajima Shizuka

1987年生まれ。武蔵工業大学卒業。メガネキャラ担当。

お気に入りの一枚『ホームにゆらめく白線』。通学途中で偶然発見。遅刻しそうになったけど、この瞬間を逃したらダメだと思いました。

小林研究室 <http://kobayashilab.net>

東京都市大学・工学部・建築学科の小林研究室。
建築・都市の光環境と、都市における人の心理と行動を研究する。研究室の著書に、『ストリート・ウォッチング～路上観察と心理学的街遊びのヒント～』『Lighting by Yourself～手づくりライティング～』『街に描く～落書きを消して合法的なアートをつくらう～』



北嶋 亮介 Kitajima Ryosuke

1987年生まれ。武蔵工業大学卒業。ひらめき担当。

お気に入りの一枚『遊び心いっぱい階段壁画』。ちょうどいいアングルは道路の真ん中しかなくて、周りの方々に迷惑をかけてしまいました。



江口 加津 Eguchi Kazu

1987年生まれ。東京都市大学在学中。イラスト担当。

お気に入りの一枚『白い鉄板に映る木漏れ日』。研究のきっかけはこの写真。光によって、ただの鉄板とただではない江口のストーリーが始まりました！



高木 志緒 Takagi Shio

1988年生まれ。東京都市大学在学中。書記担当。

お気に入りの一枚『秒単位で変化する季節』。鮮やかな赤と青の変化がその場に瞬間の季節を運んでくるようでキレイだった。



竹内 大輔 Takeuchi Daisuke

1988年生まれ。東京都市大学在学中。盛り上げ担当。

お気に入りの一枚『フィッシュ・ボーン』。出会ったときの感動はすごかった。見た瞬間魚の骨だと思ったくらい強烈なインパクトを放っていた。



矢澤 歩 Yazawa Ayumu

1988年生まれ。東京都市大学在学中。撮影隊長。

お気に入りの一枚『影を育てる影』。撮影時には地味と思ったけど、家に帰って見返したら実はすごくおもしろい写真だったと気づきました。

写真で見つける光のアート
街歩きを 10 倍楽しくするために

2010 年 10 月 5 日 初版第 1 刷発行

著者 小林茂雄 東京都市大学小林研究室

発行者 柳谷行宏

発行所 (有)雷鳥社

東京都渋谷区元代々木町 52-16

郵便番号 151-0062

電話 03(3469)7979

FAX 03(3468)7272

振替 00110-9-97086

<http://www.raichosha.co.jp>

info@raichosha.co.jp

印刷製本 株式会社シナノ

定価はカバーに表示してあります。本書の写真や図版などの無断転写・複写はかたくお断りいたします。

万一、乱丁・落丁がありました場合はお取り替えいたします。

© Shigeo Kobayashi, 2010

ISBN978-4-8441-3545-6

Printed in Japan.